

学ぼう伝えよう

# 輝く 恵那人

166人目

## HUMAN WATCH



串原大平  
みやけ まさつぐ  
**三宅 勝継さん** 57歳

□プロフィール  
高校進学のため恵那を離れ、社会人経験などを経て、家業を継ぐため平成4年に串原に戻る。趣味は月1回のゴルフ。

### 再起誓うわらわりの湯

チーム一丸となって温泉を活性化

「ささゆりの湯に再び活気を取り戻したい」と話すのは、串原の地元有志でつづいた団体「Teamささゆり」の代表を務める三宅勝継さん。今年4月のリニューアルオープンまでの紆余曲折を語った。

平成14年、串原の人口減少を食い止めるための希望の光として営業を開始した、くしはら温泉ささゆりの湯。当時は他に温泉も少なかったため、客はあふれ返り連日大にぎわいだった。ところが、周りに温泉が増え始めると客足は少しずつ遠のいていった。建物の老朽化も手伝って、ついには赤字に転落してしまった。

働き掛けを重ねて市のリニューアル工事にこぎ着けたが、外側だけきれいにしても中身を変えなくては意味がない。「これを機に、もう一度地域全体で温泉を盛り上げよう」と一念発起し、市観光協会の串原支部長を務めていた三宅さんが音頭を取ってTeamささゆりを結成した。「串原のシンボルであるささゆりの湯を何とかしたい」という共通の思いの下、チームは動き始めた。各人が仕事を終えた夜に集まり、会議を重ねる日々。次第に参加希望者が増え、発足当時7人だったメンバーはいつの



▲増設された露天風呂からは雄大な景色が一望できる

間にか31人に増えていた。資金不足が限界に達し、クラウドファンディングを利用してインターネットで支援を呼び掛けた。集まった資金でオリジナル商品の開発に注力。「郷土色があり万人受けする、インパクトの強いものを」と、試作を重ねた。試行錯誤の末、迎えたりリニューアルオープンの日。売店には、渾身の思いが詰まった黒糖まんじゅうやコーヒープリンなど6種の新商品がずらりと並んだ。リニューアルは好評で、客数も前年の1.2倍に増えた。

「リニューアルはゴールではなくスタート」と話す三宅さん。「5年後、10年後を見据えて一歩一歩進んでいきたい」と意気込む。進化を重ねる温泉の湯けむりには、串原住民の熱意が立ち込めているようだ。



はじめまして  
**えなっ宝**  
出生おめでとう  
(6/16~7/15届出分)

( )は保護者

子育ての総合相談窓口  
**えなっ宝**  
ほっとステーション  
えなっ宝 検索

こっちゃんおめでとう♡優しく元気な女の子になってね☆

鷺見 琴花ちゃん 大井町  
父 守正さん 母 真琴さん

お誕生日おめでとう。お兄ちゃんと仲良く元気に育ってね。

斉藤 敦也くん 長島町  
父 良成さん 母 みどりさん

祝1歳！こっちゃん大好きだよ。産まれてきてくれてありがとう。

大島 光喜くん 大井町  
父 孝洋さん 母 愛さん

1歳おめでとう！お兄ちゃんに負けず、たくましく育ってね♡

足立 優咲くん 三郷町  
父 幸優さん 母 愛子さん

1歳おめでとう♡生まれてきてくれてありがとう♡みんなの宝物だよ♡

柳河瀬 一花ちゃん 大井町  
父 満さん 母 亜紀さん

1歳おめでとう！これからも笑顔で元気に育ってね☆

水野 湊介くん 大井町  
父 佑歩さん 母 千咲さん

7歳になりました  
8月生まれ  
お誕生日おめでとう

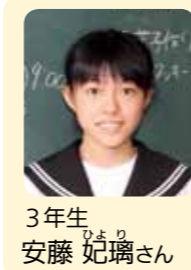
9月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく1人で胸から上で顔全体が写っているもの)の裏に①住所②氏名(ふりがな)③生年月日④性別⑤電話番号⑥両親の氏名⑦32字以内のコメント⑧ケーブルテレビ放映の可否-を添えて、8月15日(木)までに郵送か電子メールで申し込んでください。掲載は先着8人までとします。

□申し込み・問い合わせ  
〒509-7292(住所不要) 総務課広報広聴係  
☎26-2111(内線324)  
✉info@city.ena.lg.jp



### 地域の一員としてまちづくりに参加

#### 上矢作中学校



3年生  
安藤 妃璃さん

特産品のクリをどうやっておいしく食べてもらうかを考えて、栗大福を思い付きました。福寿まつりでみんなに食べてもらい、クリが特産品であることを多くの方に知ってもらう機会になれば嬉しいです。

6月23日、地域貢献活動「上矢作プロジェクト100」に向けて、上矢作中学校全生徒39人が上矢作地域自治体運営委員会の皆さんを交えて会議を行いました。

このプロジェクトは伝承芸能や文化財保護、特産品、子育て、福祉の五つの部会に分かれて、地域に役立つことを中学生自身が考え、地域への思いを住民の方たちと一緒に実現させることをコンセプトに6年前から行われています。特産品部会は地元特産のクリを使用した栗大福を作り、上矢作福寿まつりで販売する計画を立てました。

